学生生活の注意事項

連絡・掲示

学生に対する告示、連絡、呼び出し、休講情報など重要な連絡は、すべて学生ポータルサイト及び掲示板で行います。掲示を見落とすと学生生活に支障が生じます。登下校の際には必ず学生ポータルサイト及び各学科専攻・各課掲示板の掲示を確認するようにしてください。

1．大学院ホームページ

大学院の学内向け、学外向けの多くの情報は大学院ホームページからリンクされています。在学生の皆さんも大学院ホームページを常に参照するようにしてください。

大学院ホームページでは、例えば以下のような情報を確認できます。

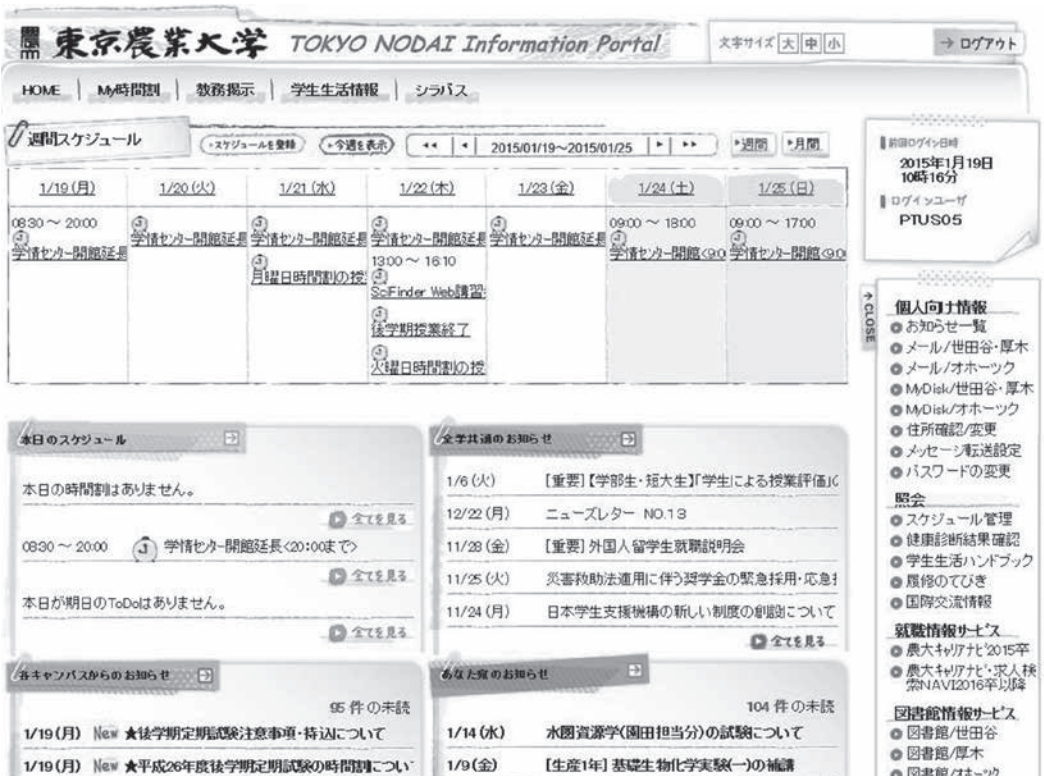
- 教育研究上の目的・目標ならびに３方針
- 大学院案内
- 大学院の入学から修了まで
- 指導教授・准教授のリストと連絡先
- 各授業科目のシラバス、オフィスアワーなど

東京農業大学 大学院ホームページ
http://www.nodai.ac.jp/nodai-gs/

2．学生ポータルサイト

学生ポータルサイトはインターネットを利用したサービスで自宅、学内のコンピュータ自習室等を利用し、アクセスすることができます。機能や使用方法について説明します。

⑴ 学生ポータルサイトでできること



個人的な呼び出しや大学からの連絡を閲覧できると同時に携帯電話のメールアドレスを登録すれば受信ができます。

３．車両乗り入れについて

北海道オホーツクキャンパスでは登録制により学生車両の乗り入れを許可しています。乗り入れを希望する学生は下記の必要書類をすべて揃え、学生教務課に提出し車両乗り入れ許可証（ステッカー）の発行を受けてください。登録のない車両は乗り入れができません。

登録に必要な書類

１．許可申請書（学生教務課にあります）
- 登録料として500円（二輪車は300円）分の証紙を貼付
- 登録者本人の捺印
- 駐車場契約証明者の捺印

２．誓約書（学生教務課にあります）
- 保証人の署名、捺印が必須

３．運転免許証の確認
４．学生証の確認
５．自賠責保険証明書の確認
６．任意保険証券または申込書の確認

※　ただし、学生駐車場以外に駐車はできません。登録車両は車内の指定場所に車両許可証を提示し、学生駐車場内の指定区域内に必ず駐車してください。

４．授業時間について

１時限は90分です。

１時限	9：00 ～ 10：30
２時限	10：40 ～ 12：10
３時限	13：00 ～ 14：30
４時限	14：40 ～ 16：10
５時限	16：20 ～ 17：50

ただし、実験・実習については時間割以外に行われることもあります。

緊急時における授業の休講措置について

ストライキ、天災（台風、地震、大雪等）、事故等により交通機関が不通の場合、気象庁から暴風等の警報又は特別警報が発令された場合及び大規模地震の警戒宣言が発令された場合は、休講措置を講じます。

詳細については､学生ポータルサイト（学生生活ハンドブックー緊急時における授業の休講措置）で確認してください。

５．研究室の使用時間と「研究室深夜利用届」について

研究室の夜間利用時間は22時までです。22時を超えて利用する場合は、予め担当教員から警備へ研究室責任者（研究室所属教員または学科教員）が署名・捺印した「研究室深夜利用届」の提出が必要となります。詳細については研究室責任者に確認をしてください。

ハラスメント防止について

本学ではセクシュアル・ハラスメントに代表されるハラスメント防止に取り組んでいます。北海道オホーツクキャンパスでも相談員を配置していますので被害を受けたなら遠慮なく申し出てください。

（1）セクシュアル・ハラスメント

学生または教職員が意図すると否にかかわらず、性差別的または性的な言動によって、学生を不快にさせる行為。学生または教職員が利益もしくは不利益を与えることを利用して、または利益を与えることを代償として、相手に性的な誘いまたは要求をする行為。相手の意に反して行われる「性的嫌がらせ」の言動をいいます。

具体的には、

１．個人的な性体験を聞く　　２．異性にカラオケのデュエットを強要する
３．女性の胸､お尻､腰などを触れる　４．異性のいるところで卑猥な話をする
５．立場を利用して無理矢理食事にさそう　６．ストーカー行為をする

等が、あげられます。

（2）アカデミック・ハラスメント

教育･研究の場において、教員またはこれに準ずる者が、その地位または職務権限を利用し、これに抗し難い地位にある者に対して、相手によって差別したり、人格を否定したり、必要以上に厳しくしたりまた指導を放棄することにより、相手方の勉学・研究意欲や学習・研究環境を害する言動または行為。

※（デートDV）

若い恋人間で、暴力を使って相手を思い通りにすることをデートDVといいます。具体的には下記のような種類があります。

１．身体的暴力（殴る、ける、叩く　等）
２．精神的暴力（バカにする、無視する、行動を制限する、つきまとう　等）
３．性的暴力（無理に性行為をする、避妊に協力しない、性行為を人に話す　等）
４．経済的暴力（お金を借りても返さない、バイトを制限する　等）

●加害者にならないためには

個人によって感じ方が異なるため、判断が難しい場合もありますが、自分の恋人、家族（親・兄弟・姉妹）が対象になった場合、不快に感じられるような言動はしないことが大切です。

●被害をうけたら

一人で悩まず、すぐ学内相談員に相談してください。個人のプライバシーは守ります。被害にあった状況は、できるだけ詳しく記録しておくと客観的に判断できたり、事態解決に役立ちます。

ただし、故意に虚偽の言動をとったことが判明した場合には、学則に基づき処分の対象となります。

●それぞれのキャンパスごとに複数の相談員を置いています。相談員の氏名、学内連絡先は学生教務課で確認してください。

進路相談・就職について

就職に関することは、キャリアセンター（８号館２Ｆ）（世田谷キャンパス･厚木キャンパスでも相談できます）が担当しています。

１．資料室

資料室には、企業研究に必要な各種情報が数多くあります。求人票・会社案内をはじめ、パソコン･参考図書等を備え、みなさんの利用に際し、充分対応できるよう努めています。企業研究、情報交換の場として、活用を期待しています。

また、３キャンパス共通して、各々の資料室を利用することができます。

２．進路個別相談

皆さんの修了後の進路や就職活動の相談・指導および就職斡旋を行っています。どんな小さなことでもかまいませんので、いつでも気軽に相談に来てください。

３．就職支援プログラム

就職ガイダンスをはじめ、各種適性検査、企業セミナー、公務員試験対策講座等を実施しています。

詳細は掲示や学生ポータルサイト、農大キャリアナビで案内しますので積極的に参加してください。

４．進路登録と進路報告

修了年次を前に、進路登録を全員にしていただきます。そして、この届出をもって求職登録としています。求職登録は「職業安定法」によって義務付けられています。進路登録は、単に登録だけでなく、進路指導や就職斡旋などに当たっての重要な資料となりますから、正確かつ、ていねいに記入してください。

進路が決定した学生は､進路報告をすぐに農大キャリアナビで登録してください。その際には､試験内容報告書もあわせて登録してください。これらの内容は、後輩の就職活動に大変参考になりますので、できるだけ詳細にわたって具体的に記入してください。

５．農大キャリアナビ（学生ポータルサイトからログインできます）

農大キャリアナビは、東京農大に寄せられた企業からの求人データ、企業説明会案内やガイダンス予約機能などを自宅やキャンパスで自由に閲覧・検索・登録できるシステムです。

ほかにも学内で行う就職支援プログラムの紹介、各種講座、インターンシップなどの情報を掲載しています。

また､先輩の進路や採用試験の詳細を記した就職活動体験記などを見やすくまとめてあります。

進路報告、就職活動体験記など、進路に関する報告も農大キャリアナビで登録することができます。

就職活動期のみなさんはもちろん、すべての農大生が自分の進路を考えるためのツールとして利用してください。

６．障がい学生に対する就職支援

障がい者手帳を持っている学生に対して、各キャンパスの健康増進センター（保健室）と連携して、個別相談や求人情報の提供等支援サービスを行っています。気軽に相談してください。

コンピュータの利用について

１．利用者ID

入学すると、利用者IDが付与されます。利用者IDは、農大のネットワークサービスを利用するときに必要な利用者を認識する符号で、８桁の学籍番号が利用者IDとなります。利用者IDは次のような場合に必要で、利用する際はパスワードも必要になります。

- 学生ポータルサイトを利用する
- 大学の電子メールを使用する
- 授業でコンピュータ演習室・コンピュータ実習室のパソコンを使用する
- 図書館、キャリアセンター、インターネットラウンジなどのパソコンを使用する
- 無線LAN（bioair）サービスなどを利用する

２．パスワードについて

上記のサービスを利用するときに、利用者本人であるかどうかを確認するため、パスワードの入力が求められます。パスワードは学生証に印字されています。パスワードは銀行のキャッシュカードの暗証番号と同様にとても大切なものです。絶対に他の人に教えないでください。また、このパスワードは上記サービスを最初に利用するための初期パスワードです。利用開始後すぐに変更し、その後も定期的に変更して個人情報が漏洩しないように注意してください。初期パスワードを変更しない場合は、５月31日で利用IDの使用を停止します。変更方法は本学のホームページにアクセス（https://www.nodai.ac.jp）し、トップページにある「在学生の方」→「パスワード変更」を順にクリック変更してください。

パスワードがわからなくなった場合は新しいパスワードを配付しますので、学生教務課で手続きをしてください。

パスワードの再配付には１日から３日かかりますので、その間は上記のサービスを利用することができません。

３．利用者IDの有効期限と情報倫理教育受講について

利用者IDは、配付当日から修了まで使用することができます。しかし、この利用者IDを使用するにあたり、皆さんが大学の様々なサービスを正しく使うことができるように、「情報倫理教育（ｅラーニング）」を受講することが義務付けられています。この情報倫理教育を受講しない場合は５月31日で利用者IDの使用を停止します。なお、農大の卒業生は情報倫理教育を受講する必要がない場合もあります。詳細は大学院ガイダンスで説明します。

情報倫理教育を受講するまでは、大学院ガイダンスで配布される新入生のための農大ネットワーク利用ガイドをよく読み、ルールを守って利用してください。

４．ネットワーク利用上の注意

ネットワークを利用するときは、次のことに注意してください。

① ネットワークを利用したすべての行為に全責任を負うことになるので、社会の一員としての自覚に基づいて利用すること。

② 他の利用者に自分のIDとパスワードを教え、電子メールや学生ポータル等を使わせないこと。また、他の利用者のパスワードの解読をしないこと。

③ 他の利用者のファイルやデータを勝手に削除したり、コピーしたりしないこと。

④ 大量のデータを送信したりすることで、他の利用者の利用を妨げないこと。

⑤ 大学のネットワークは教育・研究を目的としているので、営利目的、政治活動、布教活動などで使用することはできない。

⑥ コンピュータシステムを壊したり、故障の原因となるような行為をしないこと。

⑦ 第三者の著作物を利用するときは、著作権法の規定に従い、勝手にコピーをしないこと。

⑧ 他の利用者の電子メールを勝手に読み、削除・コピーをしたり、偽造したりしないこと。

⑨ いやがらせや公序良俗に反する内容、不確かな内容の情報をWebページを使って流したり、迷惑となる電子メールを送ったりしないこと。

⑩ コンピュータウイルスを持ち込まないこと。

５．アクセスの方法

本学のホームページにアクセス（https://www. nodai. ac. jp）し、トップページにある「在学生の方」をクリックし、自分の必要とする機能を選択し、認証画面に利用者ID・パスワードを入力して使ってください。

６．注意事項

① 学外からアクセスする場合の通信費は利用者負担です。

② システムメンテナンス等でサービスを休止することがあります。

窓口案内

■証明書が必要な時は…

大学で発行する証明書のほとんどは、学生教務課前のロビーに設置してある『証明書自動発行機』で即時発行されます（必ず学生証が必要です）。

※証明書の有効期限は発行日より３ヵ月間です。

○証明書発行機で自動発行される証明書○

証明書の種類	担当課	手数料	備考
在学証明書	学生教務課	200円	
成績証明書		200円	
修了見込証明書		200円	
ＪＲ学割証		無料	
健康診断証明書	保健室	200円	

※『証明書発行機』が故障の場合にのみ上記担当課の窓口で発行いたします。

○窓口で申し込む証明書○

証明書の種類	担当課	手数料	備考
修了証明書	学生教務課	200円	修了式後に発行
各種英文証明書		300円	発行日は窓口で確認のこと
学生証（再交付）		3,000円	発行は約１週間後
情報関連設備公開利用許可証（再交付）		無料	パスワードを紛失した場合のみ再交付 発行は約１週間後

注意）証明書を申し込む時は「学生証」が必要です。

注意）窓口で申し込む証明書の手数料は、学生教務課前に設置してある「証紙券売機」で発行する「証紙」で支払います。

☆証明書自動発行機☆

- 在学証明書
- 成績証明書
- ＪＲ学割証
- 健康診断証明書
- 修了見込証明書

《稼動時間》

8:30～17:00

☆証 紙 券 売 機☆

- 各証明書（５種類）
- 仮学生証
- 通学自動車登録
- 通学バイク登録
- 学生証再交付

《稼動時間》

8:30～17:00

大学院履修について　シラバスは学生ポータルで確認できます

課程修了の要件　（本書「東京農業大学大学院学則（抜粋）」参照）

○　博士前期課程及び修士課程の修了要件

各専攻に配当された必修科目及び選択必修科目を修得すること。そのうえで、博士前期課程又は修士課程に２年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研修指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

（各専攻に配当された必修科目、選択必修科目を修得しなければ、修了できません。履修方法については、各専攻の授業科目のページを確認してください。）

○　博士後期課程の修了要件

各専攻に配当された必修科目及び選択必修科目を修得すること。そのうえで、大学院に５年（博士前期課程又は修士課程に２年以上在学し、当該課程を修了した者にあっては、当該課程における２年の在学期間を含む。）以上在学し、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

（各専攻に必修科目又は選択必修科目等が配当されています。履修方法については、各専攻の授業科目のページを確認してください。）

履修手続き日程等

○　時間割発表	毎年４月12日に学生ポータルで発表。
○　履修登録期間	４月12日（火）～４月15日（金）17:00まで
○　履修開示	４月21日（木）学生ポータルにて開示
○　履修登録修正期間	４月25日（月）～４月27日（水）17：00まで
○　履修確定	５月９日（月）学生ポータルにて開示
○　履修登録方法	Web履修登録
○　履修上の注意	指導教授・准教授と相談のうえ履修計画を立てること。

他専攻聴講について

① 他専攻の必修科目・選択必修科目は履修できない。原則、実験・実習・演習を除く「講義科目」についてのみ履修することができる。他専攻聴講が可能な科目は、時間割を確認すること。

② 他専攻の授業科目は、10単位までに限り修了に必要な単位に加えることができる。
なお、他大学の大学院で履修し、認定を受けた単位と、他専攻聴講で修得した単位は、両方合わせて10単位まで修了に必要な単位とすることができる。ただし、他大学の大学院修得単位の認定については学務課又は学生教務課に問い合わせすること。

③ 他専攻で修得した単位は、教員免許状取得に必要な単位には含めない。

④ 他研究科の科目は履修できない。

成績・単位等について

１．成績評価基準

判定	成績	表示	成績評価基準	成績評価内容
合格	優	A	100 ～ 80点	到達目標を十分に達成できている優れた成績
	良	B	79 ～ 70点	到達目標を達成できている成績
	可	C	69 ～ 60点	到達目標を最低限達成できている成績
不合格	不可	D	59点以下	到達目標を達成できていない成績
	未評価	F	―	評価に値しない

２．学期制と授業期間

本学では、１年間を前学期と後学期の２学期に分け、それぞれの学期の中で、各学期配当科目の授業・成績評価を行います。

授業期間は、年間授業計画に従い15週とします。

学期区分	学期毎の授業期間
２学期	15週

３．１単位あたりの学修量

各授業科目の単位数は、授業の方法に応じて異なり、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、以下のとおり定められています。

	講義	演習	実験	実習
授業時間	15	15	30	30
自主学修	30	30	15	15
学修量	45	45	45	45

本学では授業時間割上の１コマ（90分の授業）を２時間としています。このため２単位の講義科目は、授業時間：30時間（15コマ）、自主学修：60時間、合計学修量：90時間となります。

４　履修登録の入力方法

※今年度自動登録される必修科目のみ履修する場合でも、必ず学生ポータルサイトから履修確認をすること。

〈履修登録をする〉

履修登録は学生ポータルサイトの照会「履修登録（修正)」から実施。登録方法は以下のとおり。

（１）メニュー画面から「教務掲示」タブを選択

（２)「履修登録（修正)」をクリック

履修登録の前に
『住所等の登録』より
「本人現住所」「保証人住所」「保証人勤務先住所」「納付通知先･本籍･出身地申請」を必ず入力する。
※電話番号については
自身の携帯電話の番号を入力。
電話番号のハイフン（－）も忘れずに入力。
※登録後の状態が「申請中」となれば履修登録が可能になります。

履修上の注意および履修モデル

北方圏農学専攻

登録科目	開講番号	科目名	単位	開講学期	必修選択別
●	MO011001	北方圏農学特別総合実験	10	通年	必修
●	MO012001	植物資源生産学特論(一)	2	前期	選択必修
●	MO012002	植物資源生産学特論実験(一)	2	前期	選択必修
●	MO012003	植物資源生産学特論(二)	2	後期	選択必修
●	MO012004	植物資源生産学特論実験(二)	2	後期	選択必修
○	MO012005	動物資源生産学特論(一)	2	前期	選択必修
○	MO012006	動物資源生産学特論実験(一)	2	前期	選択必修
○	MO012007	動物資源生産学特論(二)	2	後期	選択必修
○	MO012008	動物資源生産学特論実験(二)	2	後期	選択必修
●	MO013001	植物バイオテクノロジー特論	2	後期	選択
●	MO013002	作物生産管理学特論	2	前期	選択
○	MO013003	植物資源保全学特論	2	後期	選択
●	MO013004	食料生産学特論	2	後期	選択
○	MO013005	動物資源管理学特論	2	後期	選択
●	MO013006	細胞工学特論	2	前期	選択
○	MO013007	動物生産管理学特論	2	後期	選択
○	MO013008	保全生態学特論	2	後期	選択
○	MO013009	動物バイオテクノロジー特論	2	前期	選択
●	MO003001	研究倫理と知的財産	2	前期	選択
●	MO013010	プレゼンテーション技術演習	2	通年	選択
●	MO013011	学術論文作成法	2	通年	選択
○	MO013012	特別認定	2	通年	選択

海洋水産学専攻

登録科目	開講番号	科目名	単位	開講学期	必修選択別
●	MO021001	海洋水産学特別総合実験	10	通年	必修
○	MO022001	オホーツク水産生物学特論(一)	2	前期	選択必修
○	MO022002	オホーツク水産生物学特論実験(一)	2	前期	選択必修
○	MO022003	オホーツク水産生物学特論(二)	2	後期	選択必修
○	MO022004	オホーツク水産生物学特論実験(二)	2	後期	選択必修
●	MO022005	オホーツク水圏環境学特論(一)	2	前期	選択必修
●	MO022006	オホーツク水圏環境学特論実験(一)	2	前期	選択必修
●	MO022007	オホーツク水圏環境学特論(二)	2	後期	選択必修
●	MO022008	オホーツク水圏環境学特論実験(二)	2	後期	選択必修
○	MO023001	水産増殖学特論	2	前期	選択
○	MO023002	水産生態学特論	2	前期	選択
○	MO023003	水族繁殖学特論	2	後期	選択
●	MO023004	水圏生物化学特論	2	後期	選択
●	MO023005	氷海環境学特論	2	前期	選択
●	MO023006	氷海生態学特論	2	前期	選択
●	MO023007	水圏モニタリング特論	2	後期	選択
○	MO023008	水圏生物資源学特論	2	後期	選択
●	MO003001	研究倫理と知的財産	2	前期	選択
●	MO023009	プレゼンテーション技術演習	2	通年	選択
●	MO023010	学術論文作成法	2	通年	選択
○	MO023011	特別認定	2	通年	選択

食香粧化学専攻

登録科目	開講番号	科目名	単位	開講学期	必修選択別
●	MO031001	食香粧化学特別総合実験	10	通年	必修
○	MO032001	食香粧資源利用学特論(一)	2	前期	選択必修
○	MO032002	食香粧資源利用学特論実験(一)	2	後期	選択必修
○	MO032003	食香粧資源利用学特論実験(二)	2	前期	選択必修
○	MO032004	食香粧資源利用学特論(二)	2	後期	選択必修
●	MO032005	食香粧バイオサイエンス特論(一)	2	前期	選択必修
●	MO032006	食香粧バイオサイエンス特論実験(一)	2	前期	選択必修
●	MO032007	食香粧バイオサイエンス特論(二)	2	後期	選択必修
●	MO032008	食香粧バイオサイエンス特論実験(二)	2	後期	選択必修
○	MO033001	食品製造学特論	2	前期	選択
○	MO033002	食品加工学特論	2	前期	選択
●	MO033003	食品安全保蔵学特論	2	後期	選択
○	MO033004	サーモエンジニアリング特論	2	前期	選択
●	MO033005	食品機能解析学特論	2	前期	選択
●	MO033006	応用蛋白質化学特論	2	前期	選択
○	MO033007	微生物バイオテクノロジー特論	2	後期	選択
●	MO033008	細胞生理学特論	2	後期	選択
○	MO033009	生物有機化学特論	2	後期	選択
●	MO003001	研究倫理と知的財産	2	前期	選択
●	MO033010	プレゼンテーション技術演習	2	通年	選択
●	MO033011	学術論文作成法	2	通年	選択
○	MO033012	特別認定	2	通年	選択

自然資源経営学専攻

登録科目	開講番号	科目名	単位	開講学期	必修選択別
●	MO041001	自然資源経営学特別総合演習	6	通年	必修
●	MO042001	産業経営経済学特論(一)	2	前期	選択必修
●	MO042002	産業経営経済学特論演習(一)	4	前期	選択必修
●	MO042003	産業経営経済学特論(二)	2	後期	選択必修
●	MO042004	産業経営経済学特論演習(二)	4	後期	選択必修
○	MO042005	地域企業マネジメント特論(一)	2	前期	選択必修
○	MO042006	地域企業マネジメント特論演習(一)	4	前期	選択必修
○	MO042007	地域企業マネジメント特論(二)	2	後期	選択必修
○	MO042008	地域企業マネジメント特論演習(二)	4	後期	選択必修
○	MO043001	産業経営学特論	2	前期	選択
○	MO043002	地域企業経営史特論	2	後期	選択
●	MO043003	地域企業マーケティング特論	2	前期	選択
●	MO043004	地域産業クラスター特論	2	後期	選択
○	MO043005	環境経済学特論	2	前期	選択
○	MO043006	産業経済学特論	2	前期	選択
●	MO043007	地域企業会計学特論	2	前期	選択
●	MO043008	戦略市場計画特論	2	前期	選択
○	MO043009	新事業開発特論	2	後期	選択
●	MO043010	地域企業情報管理特論	2	後期	選択
○	MO043011	自然資源管理論	2	後期	選択
●	MO003001	研究倫理と知的財産	2	前期	選択
●	MO043012	プレゼンテーション技術演習	2	通年	選択
●	MO043013	学術論文作成法	2	通年	選択
○	MO043014	特別認定	2	通年	選択

※各科目の授業内容科については、各科目のシラバスを確認してください。また、履修登録前に、必ず授業の担当教員に確認の上、履修登録をしてください。
※必修科目10単位（産業経営学専攻6単位）、選択必修科目8単位（産業経営学専攻12単位）、選択科目12単位以上の合計30単位以上を履修し、修得してください。
※各専攻配当の選択必修科目は、専修する特論（一）（二）と特論実験（演習）（一）（二）を履修してください。
※各専攻必修科目（特別総合実験、特別総合演習）およびプレゼンテーション技術演習は、各年履修届をしてください。

生物産業学専攻

登録科目	科目コード	科目名	単位	開講学期	必修選択別
●	OD003001	生物産業学特別総合実験(農学分野)	4	通年	選択必修
○	OD004001	生物産業学特別総合演習(経営学分野)	4	通年	選択必修

※農学分野は特別総合実験、経営学分野は総合演習を履修してください。

教員免許について

大学院生物産業学研究科で取得できる免許状

大学院生物産業学研究科で取得できる教員免許状の種類は、次のとおりです。

専　　攻	課　　程	中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状
北方圏農学専攻	博士前期課程		農　　業
海洋水産学専攻	博士前期課程	理　　科	理　　科
食香粧化学専攻	博士前期課程	理　　科	理　　科
自然資源経営学専攻	博士前期課程	社　　会	公　　民

教員免許状取得の条件

○　中学・高校専修免許状を取得するためには、下記の条件をすべて満たすことが必要です。

①　当該教科の中学・高校一種免許状を取得していること。

②　大学院当該専攻の単位を24単位以上修得すること。

③　修士の学位を取得すること。

その他の注意事項

○　博士前期課程の修了年次生で、教員免許状を一括申請で申し込み希望の場合は、４月に教職担当教員に申し出てください。

○　その他不明な点は、学生教務課（教職課程担当）にお問い合わせください。